

第1回瀬戸市子ども読書活動推進協議会 議事録（案）

日時 令和元年7月16日（火）午後1時28分～午後2時21分

場所 瀬戸市役所 2階 会議室

出席者

会長：林 敏彦

委員：丹下 洋吾、加藤 千美、杉本 友美、山田 真美、松崎 太郎、此下 明雄、熊谷 由美、磯村 玲子、小島 早苗、田中 伸司

事務局：図書館長 吉村 きみ、図書館主事 村井 理紗子

欠席者

委員：なし

議事内容

1 開会（進行－吉村館長）

- ・委員へ議事内容記録のための録音の説明
- ・会議の終了時間の案内、円滑な進行へのご協力お願い

2 あいさつ

○事務局（図書館長）

瀬戸市子ども読書活動推進協議会の会長は、設置要綱の規定により教育部長が務めることとなっている。主催者あいさつとして、教育部長から挨拶を申し上げる。

○会長

お忙しい中、お集まりいただき感謝申し上げます。ご承知のとおり、昨年7月に策定委員会を開き約半年間にわたって議論を進めていただき、今年度からの5か年の計画が出来上がった。協議会の大きな役割は推進の進捗状況を見ていただくということなので、よろしく申し上げたい。基本理念にあるとおり、「子どもの未来へ 豊かな読書活動をつなぐ」ということで、子どもたちが読書に親しんで、本を読む楽しさを知ってもらい豊かな感受性、知識を身に付けてもらうということが大きな目的である。そのことによって、第2次アクションプランの基本理念にあるように「自ら考え、学び、生き抜く力」を得られる一助となればと考えている。

我々と学校、地域、そして図書館が連携しながら、子どもたちの読書活動を推進できればと思っているので、1年間、よろしくお願い申し上げます。

- ・配布資料の確認

3 委員紹介

○事務局（図書館長）

今回の協議会の委員については、設置要綱の第3に基づき、関係部署・関係部課および関係機関から選任し、要綱別表に掲載している12名となっている。時間の関係上、席次をもって紹介に代えさせていただく。

なお、本日は全員出席となっている。

4 議事（議長-会長）

○事務局（図書館長）

ここからは会長に議長として進行をお願いする。

（1）計画の概要について

事務局（図書館長）より「瀬戸市子ども読書活動計画（第三次）」に基づき説明

○会長

計画の主だったところを、事務局よりご説明した。ご質問・ご意見・ご提案等があればお願いしたい。

○委員

大変素晴らしい計画ができてとても嬉しい。前年度の議論の中でもあったが「発達段階に応じた取組一覧表」を拝見し、0～18歳まで、所属する学校の有無にかかわらず居場所としての図書館が非常に最近注目されている。学校に行けないお子さんや幼稚園・保育園に行っていないお子さんにとって、図書館が居場所として機能していけばいいなと思っており、この計画が多くのお子さんの役に立つようにと期待する。

○会長

ビブリオバトルについては、大学コンソーシアムせとの方で前から実施しているという事で、先日もテレビで見たような気がするが、対象は高校生か。

○事務局（図書館長）

高校生も、発表者として参加するという形です。

○会長

その下の中学生については、これから参加の可能性はあるか？

○事務局（図書館長）

これから広げていきたいと考えている。

○会長

運営については、大学生が行っているのか。

○事務局（図書館長）

はい。始まりは大学コンソーシアムせとで、加盟大学の図書館と何か一緒にやれることはないかというところから始まった。発表者も大学生、運営、企画、当日の進行も大学生で行っていたが、高校生も参加したいという声を聞き、発表者に高校生も入ってもらうようになり、2年前からその形を続けている。

○会長

18ページのLLブックについては、現在瀬戸市の図書館にどのくらいの蔵書があるか。

○事務局（図書館長）

LLブック自体が、それほど出版されおらず、出版情報をつかんだら入れる形をとっており、現在12、3冊かと思う。字が大きくて、表現が写真や絵でされていて分かりやすい本である。

（2）計画の進捗管理について

事務局（図書館長）より資料1について説明

○会長

ご質問・ご意見があればおっしゃっていただきたい。取組の実績とあるが、今年の実績を2月ごろに書くということか。

○事務局（図書館長）

4月に入ってからのご記入でと考えている。

○会長

今年を取組状況については、皆様把握されているということか。

○事務局（図書館長）

この一覧は、計画から取組について抜き出したものになっており、計画に沿って行っていたか。取組の主体という部分が、主に取組を行っていただく担当部署となっているので、1年終わった段階で実績を書き添えて、目標に応じて、達成できたのかできなかったのかの評価をしていただき、今後計画に書かれたとおりに行っていくのか、修正した方がいい部分があるか等を書き添えていただくという形である。

○会長

本日、それぞれの組織から来ていただいているが、現場の皆様はどのようなことをするかということが、腹に落ちているということでもよろしいか？

○事務局（図書館長）

本日再確認をお願いできればと思うが、策定委員会の時にご参加いただいた部署の代表の方に引き続き委員を務めていただいております、策定の段階で確認は取れている。

○会長

その他よろしいか。

○委員

コンソーシアムの方で、高校生とも取り組んでいるのはいいと思った。今日は、高校の方もいらっしゃっているが、図書のことだけでなく中学生・高校生の方に広めていければいいなと考えているので、何かきっかけがあれば連携していければと思う。

(3) その他

事務局（図書館長）より資料2について説明

○会長

ビブリオバトルへは瀬戸西高校の生徒さんが参加されたということだが。

○委員

館長に声をかけていただいて、生徒が参加させていただいた。図書の主任から、大学生の方の発表が上手で少し及ばなかったが、立派な発表をしていたと聞いた。

参加するにあたって、その前段階として本校の読書週間の取組としては、ブックトークというのを行っている。練習も兼ねてという意味合いもあったそうである。本好きな子はいつの時代でもいる。本校では、図書館で貸出冊数の統計をとっており、たくさん借りた生徒を多読賞ということで、表彰している。内輪での表彰だが、もっと図書館を利用してもらいたいということでそのようなイベントを行っている。一番多かった子で179冊ということだった。119冊、74冊、55冊あたりまで表彰対象となっている。本好きの子どもたちは必ずいるが、好きな子が自分だけで読んでいるのではなく、それを全体に広げていくような形がいいかなと。本を読むとこんなに楽しいよということ、その子たちが発信できる場をつくっていただければと思う。それがビブリオバトル、ブックトークになるのかなと思う。1人でこもって読んでいるのではなく、本を読む楽しさをみんなで共有できるとよい。本校のブックトークは生徒と職員が参加する。そういう機会を館長に紹介いただき、ちょっとずつ広がりができています。今年は県のビブリオバトルの大会があるが、生徒にも紹介していきたいと考えています。

○会長

とってもいいお話をお聞きかせいただけた。ブックトークとは、参加した生徒がこの本はとってもいい本だよと紹介する場面があるわけか。どういう時に行うのか。

○委員

はい、図書館のイベントで、読書週間にクラスの図書委員が色々分担し、先生と生徒が一緒になって、飾り付けをしたり、本にまつわる展示をしたりということとあわせて、図書委員から、全校生徒にブックトークを行うと呼びかけて、一つのイベントとして行

っている。それ以外にも教員の方は、授業の中で本の紹介を行っていると思う。本校は残念ながら、朝の読書を実施していないが、瀬戸高校は行っているほか、前任校の豊明高校でも行っており、中日新聞に取り上げられた。

○会長

とてもいい話をお聞きしました。中学校の方では読書に関する取り組みや図書室の当番などはあるのか。

○委員

図書委員会主催で、色々な取組は行っていて、年3回の読書週間や本を読めたらここを塗るといような読書ビンゴなどを行っている。雰囲気作りがとても大事だと感じている。24時間は今も昔も変わらないが、余暇の時間がゲームやスマホに置き換わっているというのがあるので、子どもたちをいかに、ゲームやスマホから読書に引き戻せるかというところが問題かと思う。

○会長

読み聞かせをやっている委員にお伺いしたい。

○委員

今日、ちょうど11時からの未就園児対象の読み聞かせ当番を行った。今日いらっしやった方が、赤ちゃんと幼稚園児を連れてきたので、「夏休みですか？」とお声掛けしたところ、実はその方は里帰り中で、読み聞かせがあると知って参加されたとのことだった。ご実家がこちらということで瀬戸にゆかりのある方だが、他県の方が図書館で何か楽しいことがあるのではと、期待して来てくれたということにやりがいを感じた。この計画には、瀬戸市子ども読書とあるが、図書館に来た方どなたにでも、役立てるようにならなりたいと思う。子どもたちが興味を持つスマホや、お母さんたちは忙しいなどの流れがザーザーと激しい勢いで流れていく中、今日参加してくれたお子さんも最後まで聞いてくれていたが、細い杭でも一生懸命打ち込んで行って、本って楽しいなという思い出をこの計画とともに作っていったらと思う。

○会長

日頃の活動に感謝申し上げます。幼稚園の話が出たが、どうか。

○委員

本には恵まれて、図書室もあるし、1日1回は先生による読み聞かせを行うなど、本に関しては充実して行っている。幼稚園は本と密接に繋がっているので良いかと思う。

○委員

娘が、南山中学校の3年生と1年生に在籍している。今、朝読書の時間が週5日行われているということで、おそらくそれが無ければ読書は出来ていなかったと思う。それこそ、スマホが出てくる生活になってしまうが、その朝の20分間があることによって、子どもたちは少しでも本を読む時間があり、月に1冊以上読めるような計算になっているので、朝読書はいいことだと思う。ただ、下の娘が去年まで在籍していた水南小学校

では、朝読書が毎日あるわけではなく、読書週間の時だけ行われているようで、その期間だけ本を探していかなきゃという状況で、普段はできなかった。毎日時間を作るのは大変かもしれないが、学校でとっていただけるとすごくありがたい。

○会長

南山中学校では毎日朝読書があるということだが、これは南山中学校の校長先生の判断か。

○委員

中学校は比較的、朝読書に取り組んでいる。朝読書を行うと学校全体が落ち着き、気持ち落ち着いた状態で1時間目を始めることができる。

○会長

本は読みあったりするのか。

○委員

いえ、自分で選んだ本を持ってきて、自分の席で読みます。

○委員

小学校では、行っている学校もあり、長根小も前までは行っていたが、英語が入ってくることに伴って、朝読書の時間が減ってしまった。しかし、次年度以降はこれは改善されていくので、朝読書復活の兆しもあると思う。

○委員

健康課はブックスタート事業で関わっている。物心つかないうちに、本に親しむきっかけをとということで、図書館にご協力いただき行っている。9割以上の方が実際にご参加をいただいております、これからも継続して行っていきたいと考えている。自分の子どもを見ていて実感するが、小学生くらいまでは一生懸命本を読んでいるが、中学生になってからはがくっと本を読まなくなる。先ほど不読率の話もあったが、高校になるとまったく読まない。色々なものが自分の生活に入ってくる中で読まなくなってしまうので、難しい話だとは思いますが、先ほど出た「朝読」のような機会を、学校だけでなく、自分の家の生活の中に何とか取り入れられないかと思った。色々なものを見ると、本を読むと精神的に落ち着き学習の導入になるということもあるようなので、子どものころ芽生えたのがどこまで続いていくのかということが、その子たちの将来の保障や自信に繋がると思う。学校も忙しいとは思いますが取り組んでいただき、現場や家庭でも取り組んでいけたらと思った。

○会長

家での取組ということが挙げたが、図書館長に「家読（うちどく）」についての周知や啓発などを含めてお伺いしたい。

○事務局（図書館長）

瀬戸市ではまだ準備が出来ていない状況である。県の方が、県の計画に掲げており、パンフレット等を作って、瀬戸市においてくるという状況である。家で本を読んで、家

族でその本について語り合おうという取組である。

○会長

いいことだと思うが、どのように普及していくのか。

○事務局（図書館長）

まずは、県がどのように行うのか動向を見て行っていこうと考えている。

○会長

瀬戸市図書館の独自で何かいいものがないか、考えていきましょう。

他には何かあるか。無ければ本日の議題を終了し、事務局へお返す。

5 その他（進行－吉村館長）

○事務局（図書館長）

何か情報提供等はあるか。

○委員

現在、瀬戸市では、子ども読書推進計画の方の関連計画となっている「子ども総合計画」を策定中である。去年少しこちらで紹介したが、主に福祉分野を中心とした子どもに関する総合的な計画なので、一度できたところでタイミングがあれば、ご紹介させていただきたい。現在、たたき台が出来ており、それを各関係機関・専門家にお諮りしている段階で、秋にはたたき台としてはほぼ完成してくる形になり、その時にお持ちしたいと考えているが、いかがか。

○事務局（図書館長）

推進協議会については今年度はもう予定していないが、事務局から委員へ資料を提供したりという形ではご協力ができる。

○会長

せっかくなので、計画に対し、委員からご意見いただけるようにしたい。

○委員

お忙しい中、わざわざ集まっておいただくのも心苦しいので、本日ご参加の皆様は、別の関係機関会議にご参加の方も多いため、そちらの会合を通じた意見収集にするなど、考えさせていただきたい。

○事務局（図書館長）

今回この推進協議会につきましては、計画が出来たことについて、事務局は図書館ではあるが、関係部署・団体の方と連携して、この計画を推進していきたいということの確認という意味で、開催させていただいた。次回は、来年度になったら、今年度の計画がどのように進んでいったかということの評価を行っていきたくと考えているので、推進協議会は来年の開催となる。委員の皆さんに日程調整をさせていただく。本年度については、何かあったら、臨時で皆さまにお集まりいただくということもあると思う。また、なんでもご意見等があれば図書館にいただければ、図書館からみなさんにお聞きす

るという形にしたいと思うのでよろしくお願ひしたい。

それでは、他にご意見はあるか。

○委員

今、スマホで子育てをするお母さんが増えている。0歳から見せることによって、依存症と同じ症状が出て、人間にとって情緒を司る前頭葉がやられてしまうと医者から言われており、幼いときにそこをやられてしまうと大変なことになってしまう。スマホにはすごい刺激があり、絵本をスマホの操作と同じようにフリックする。絵本と触れ合う図書館の役割は非常に大切だと思う。若いお母さんたちに、温かい絵本だけでなく、今のこの時代に、何がよくて何が危険なのかということの啓発も図書館に行ってほしい。どの親御さんも、子どもを賢い子に育てたいと思っていると思う。そういった意味でも、先を見据えて読み聞かせの大切さを具体的に、時代の流れがものすごく危険であるといったこととともに、伝えていっていただきたい。

○事務局（図書館長）

今、先生がおっしゃったような記事をいくつか読んだことがある。11時からの未就園児向け読み聞かせを、絵本を読むだけではなく、そのようなことも伝えながら、行っていきたいと思う。図書館は情報収集に努めているが、こんな情報はないかということをお願いいただければ、皆さんに提供できるかと思うので、そういった形でも図書館を利用していただければと思う。

他に何かあるか。

ないようなので、閉会とさせていただきます。

6 閉会